

通信

会員数 5,603人 共済契約数 1,652件 ACTつながるケア時間数・金額 2,368時間 6,026,460円 (2月末)

特集 P4

座談会

ACTがつくる たすけあいのまち

「ACTつながるケア」で 仲間をふやし つながりを広げたい



- P2 公開講座報告 初のオンライン講座を開催
地域ACT設立総会報告
- P3 ACTコミュニティ活動応援基金助成団体決定
みんなのアビリティ共済！
「新型コロナウイルス感染症に関する保険金の取り扱いについて」
- P6 理事会だより
「2020年度コロナ禍における生活クラブ運動グループの緊急支援」
理事紹介
- P7 政策提案委員会より
介護報酬0.7%アップ「それで在宅介護を守れるのか!？」
男女共同参画社会促進に向けて
「ポストコロナにおける男女共同参画」
- P8 片付け事業をご利用された方の声／3人でGo!!

「成年後見制度をもう一つの安心に」
～おひとり様の準備は大丈夫？～

2月18日開催

自分らしく最期まで安心して暮らす準備のための「成年後見制度」について、弁護士の方から、たとえ話も織り交ぜたわかりやすいお話—日本の社会状況をふまえて成年後見制度の理念や「利用促進法」によるしくみづくりの必要性、市民後見人の意義など伺いました。後半は、実際に任意後見制度を利用しようと自分自身のライフプランを描いたという経験談を伺って「これからノート」を書いてみようと思いました。



講師の小泉晴子さん(左)、富永忠祐弁護士(右)

「いま親と子の心におきていること」
2月20日開催

子どもと家族のメンタルクリニックやまねこの田中哲先生による子どもの育ちを支えることと心の問題についてお話していただきました。



コロナ禍での延期から約1年越しのオンラインによる開催は、36名の参加でした。子どもの発達を支えるにはコミュニティが必要。子どものDOING(能動性)には必ずBEING(自尊心)が関係していて、どんなことも子どもの行動には意味があるということでした。最後に丁寧に皆さんの質問1つ1つに答えてくださいました。

子どもたちを地域で支えるということの大切さに改めて気付かされた講座でした。

地域 ACT 設立総会報告

武蔵野ACT

地域にさまざまな「ご縁」をつくり、気軽に声をかけ合い、誰も孤立することなく見守り合える、そんな小さな安心のしくみをつくっていきましょう！

1月31日、参加者全員で“設立趣意書”を読み合い、武蔵野ACTが歩き出しました。今後、身近な地域でお茶会や学びの会、ミニミニコンサートなど楽しい出合いを企画していきます。

武蔵野ACT 市橋綾子



緊急事態宣言発令中の設立総会はZoomで

世田谷ACT

2月22日世田谷ACT設立総会を開催しました。おだやかな暖かい日でNPO法人コンチェルティーノの事務所で11人の参加でした。自己紹介する中、出席者から改築した実家をみんなが集う場として使ってほしいといううれしいお知らせがありました。広い世田谷に活動を広げていくスタートにふさわしい日となりました。

世田谷ACT代表 岡田佳子



たくさんの夢を描いてスタートします！

助成団体決定！

<助成期間>

2021年4月～2022年3月

2月11日に居場所部門に応募された新規2団体の公開ヒアリングがオンラインで開かれました。想いや事業計画の発表と活発な質疑応答の後、選考委員会の審査結果が理事会へ報告され助成が決定しました。

コロナ感染拡大防止のためオンライン参加もあり、ヒアリングの様子は初の試みとしてYouTubeで公開しました。



杉並・ワーカーズ
まちの縁がわ
上井草

府中・ワーカーズ
まちの縁がわ
『テラツツア』

団体名	杉並・ワーカーズまちの縁がわ 上井草	府中・ワーカーズまちの縁がわ 『テラツツア』
活動事業名	「ほっとスペースすてっぷ&すきっぷ」 立ち上げ	みんながつながる居場所 『テラツツア』の開設
活動内容	地域で作りあげた困った時のSOS 活動を引き継ぎ、縁がわの事業を 地域の人たちと連携して進めます。	府中市市民版地域福祉計画の柱であるセン ター機能を担いながら、まちの縁がわ活動 を展開。
助成額	280,000円	200,000円

新型コロナウイルス感染症に関する 保険金の取り扱いについて

保険金・給付金のお支払い

新型コロナウイルス感染症は、他の疾病と同様に入院給付金や入院治療給付金のお支払い対象となる疾病に該当します。

入院給付金・入院治療給付金に関する特別扱い

臨時施設等または自宅で療養した期間についても、その期間に関する医師（医療機関）・公的機関の証明をもって給付金の対象となる特別扱いを実施いたします。

- 医療機関が満床等の理由で入院できず、ホテルなどの臨時施設等または自宅において、入院と同等の療養を受けた場合

- 医療機関が満床等の理由で退院予定日が早まり、ホテルなどの臨時施設等または自宅において入院と同等の療養を継続した場合

但し、ワーカーズ・ケア保険金については、上記特別扱いの対象外となります。詳細は事務局にお問い合わせください。



みんなの
アビリティ共済！

その6

「ACTつながるケア」で 仲間をふやし つながりを広げたい

ACTのたすけあいの原点「自立援助サービス」(現在はACTつながるケアに名称変更、都内34ヶ所)が始まって29年、ケアを担うたすけあいワーカーズメンバーとワーカーズまちの縁がわメンバーの方に歴史や思いを語っていただきました。

1992年スタート 「みんなの顔が輝いている」

豊泉●1992年に自立援助サービス(現在のACTつながるケア)がスタートしました。その頃の利用料の支払いは、回数券のような利用券方式で、手作り感がありました。皆で、地域で困っている人がいたら、駆けつけて「お手伝いしましょう」と、スタートしたんですね。

山本●エプロンは最初は生活クラブ生協のセンターに間借りし、ほとんど鳴らずの電話でした。パーキンソンの方とファミレスで一緒にご飯を食べたり、のどかな時代でした。

椛木●その頃は介護保険や障がい福祉サービスはありませんでした。

豊泉●家事、子育て、介護のシャドーワークを社会化しようと、たすけあいのしくみを自分たちの手で作ってきました。印象に残っている事はありますか？

山本●定例会がすごく楽しかった。見学者が「みんなの顔が輝いている」その言葉が印象的でした。全部自分たちで話し合っただけで決めていました。

議論を重ねた介護保険制度への参入

豊泉●2000年に介護保険制度が始まって法人格をとらないと制度に参入できなくなりましたが。

椛木●ゆるやかな働き方を、という人もいましたが、事業継続のために参入し運営的に安定させなきゃ、という意見も出て、介護保険制度に参入するために法人格を取りました。制度の不備の部分を実行政に訴

えていくことも使命、と皆が納得しました。

山本●エプロンもしっかりした経済基盤を作った方がよいのではという話し合いをしました。NPOになり右肩上がり成長し、事業高も増えました。

椛木●介護保険で対価も少しずつ上がり、仕事へのモチベーションも高くなってきました。参入したことはよかったです。

本当に必要なときに「つながるケア」

椛木●つながるケアの利用者が介護保険に移行し数的には減りましたが、つながるケアを必要とする人は沢山います。

山本●これからも介護保険ではできない内容で、必要なサービスがあると思います。

豊泉●利用者の立場からいろんなサービスがあったほうがよいし、病気や家庭状況など様々な理由で日常生活がまわらない、制度に当てはまらないケアは色々ありますよね。

ワーカーズの魅力って？(わたしが できること、してほしいことをつなぐ)

小島●私はおじいちゃん、おばあちゃん子で高齢者に関われる仕事をしたいと思いメンバーになり、自分の子どもが障がい児で、障がい者支援もすごく興味がありました。初任者研修を受け、仕事を増やしていきました。

小森●私も下の子がダウン症で福祉にお世話になりました。保育園に入ったので、今度は私にも何かで

参加者紹介



うつき かすみ
打木 香澄
1998年に加入、ケアの利用者
小平・ワーカーズまちの縁がわ ちっ
ちゃいおうち(2016年)のメンバー



かばき みちこ
榎木 道子
たすけあいワーカーズゆりの木に加入
して26年目



こじま みゆき
小島 実幸
たすけあいワーカーズふるしきに加入
して2年目



こもり ゆき
小森 由貴
たすけあいワーカーズらいふえいどに
加入して2年目



やまもと こ
山本 ふき子
たすけあいワーカーズエプロンに加入
して22年目



とよずみ ふみこ
【進行役】 豊泉 惣子
ACT理事長
たすけあいワーカーズさざんかに加入
して24年目

きることあるかな、と始めました。企業とは違う働き方にやりがいと魅力を感じています。

山本●ワーカーズってまさしくお仕事の地産地消ですよ。地域からお金を貰って地域にまたお金を落とす。すごく良い働き方だ。コロナ禍でも自転車で仕事に行けますし。

豊泉●地域の中で人やお金を循環させるしくみなんですよね。

地域の中でたすけあうこと

豊泉●打木さんは、ケアを利用されたことがあるそうですね？

打木●夫の両親を引き取ることになって2年程利用しました。らいふえいどを知っていたので、すぐに相談するといろんなことを手配してもらい、ケアにも入ってもらいすごく助かりました。

豊泉●地域の人に来てくれるという良さはありましたか？

打木●近所の顔なじみの人だったので、安心してお任せして「自由にやってください」みたいな感じで(笑)。

豊泉●打木さんは、まちの縁がわでワーカーズという働き方をされていますが、居場所を自分の地域に作ったことをどんな風に思っていますか。

打木●自分たちが歳とっても行ける場所があると良いですね、場所があれば誰でも集まれる、話もできますから。らいふえいど(たすけあいワーカーズ)の隣を借りることが出来て本当に良かったです。来た人がまた繋がって、良い場所ができていかなと思えます。

将来の夢の実現へ

豊泉●ワーカーズのメンバーになり、ご自身は変わりましたか。

山本●私は、痩せた(笑)。障がい児の支援学校の送り迎えで2万歩くらい歩く日があって。慣れるとどうってことなく、一石二鳥だって。お金は貰えるし、スリムになるし(笑)、健康になるし、「こんな良い仕事はないぜ」って思っています。

榎木●様々なお宅に伺って本当に介護って大変と分かり、とても勉強になりました。これからは地域ACTで皆さんと楽しく過ごせればと思っています。

豊泉●生涯現役でいたいですね。

小島●私は人が繋がることの大切さを改めて感じました。夢は、高齢者と子ども達を繋げたい、まちの縁がわのような交流できる居場所を地域にたくさんつくりたいと思っています。

小森●私も子どもと高齢者が一緒にいられる居場所って魅力的だな、と。いつか同じような場所を小平でもと思っています。

豊泉●それが出来るのがACT。自由な発想で自由な形でACTならきっと出来ると思います。

打木●小森さんにちっちゃいおうちを利用して頂きたいな。誰かが常にいる地域の縁がわになりたいと思っています。

豊泉●介護保険など、制度で全てが解決する訳ではありません。地域で安心して最期まで暮らし、そして自分自身も輝けるよう「つながるケア」を拡げたいですね。それぞれの地域で頑張りましょう。

理事会だより



2020年度コロナ禍における生活クラブ運動グループの緊急支援

生活クラブ・東京は2020年4月の緊急事態宣言により、厳しい経営状況に陥った生活クラブ運動グループ各団体へ8,315,478円の支援を10～11月に実施。生活クラブ組合員のカンパと生活クラブからの拠出によるものです。

この大きな温かい支援は次の二通りの方法で行われました。

①緊急支援助成

ACT運動グループには総額3,079,945円があり、家賃助成とコロナ感染対策備品費として、2,628,000円の助成。

②生活クラブ運動グループ応援キャンペーン

団体が販売する品物や食事、ACTつながるケアなどキャンペーン中にチラシ持参の組合員に10%割引し、割引額を助成。ACT運動グループでは451,945円の支援を受けました。

●ACTが実施した緊急助成

まちの縁がわ応援を呼びかけたコミュニティ活動応援基金への寄付は、2021年3月末日で884,000円となりました。ワーカーズまちの縁がわに、2020年6月に540,000円、2021年3月に330,000円の助成を行ない会員の力強い応援を届けました。

■新事務所に引っ越します

今年5月に賃貸借契約の更新を迎えますが、家賃の増額を提示され経費削減のため、事務所探しを行ない7月からは心機一転、新事務所で事業再開です。



理事紹介

きくち しげこ
菊地 成子

ACT会員
2019年就任



「ACTに入って」の声で入り、私の周りを見渡すとACTが溢れている。いつの間にか「いきいきサークル」2つに入り、ほっとサービス、ケアマネジャー、デイサービスの方々がACTの友人で、家族でお世話になる。アビリティ共済のワーカーズ・ケア保険金 20万円は助かると思える。ACTは良いねと実感しているが、この8年間、会員が減り続けている。『ACT、♥♥♥入って』と活動の日々です。

すぎうら なおこ
杉浦 尚子

たすけあいワーカーズ
「もも」
2019年就任



2年前に母を亡くしました。病気知らずの母は突然の病であったという間に旅立ちました。何年前からか、書類や保険、葬儀場や慰霊写真など、帰省するたびに伝えてくるようになり、その度に、まだまだ早い！と言っていたのに……今から思えば最期の支度をしているようでした。私への遺言は『お父ちゃんを頼むわ！』その父は、母が最後の入院前日に手配した配食を利用して元気に暮らしています。

政策提案委員会 より

介護報酬0.7%アップ 「それで在宅介護を守れるのか!？」 服部万里子さん学習会 (2月17日オンライン開催)

令和3年度は介護報酬改定の年。その内容について服部メディカル研究所所長の服部万里子さんに伺いました。

改正目的のポイントの1つに報酬改定の内、0.05%が「感染症や災害時への対応強化」に充てられ、改定率は実質0.65%アップとなりました。

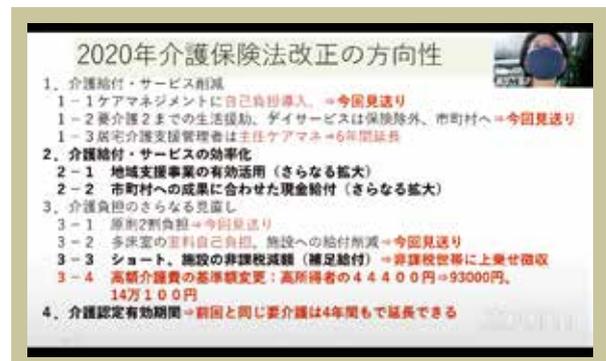
訪問介護では、認知症介護基礎研修の受講義務付け、認知症ケア体制加算や看取りのための2時間ルール弾力化、通院乗降介助の見直しなどがあげられます。しかしながら、報酬のアップ率は0.2%にとどまりました。私たちは介護報酬の基本的な報酬アップを求めてきましたが、今回も加算ありきの改定となりました。

また、介護施設・事業所における業務継続計画 (BCP) の策定・実施を3年間の経過措置期間を設け示しています。国は、経済の成長戦略と

して介護の経営は大規模化の方向で、小規模事業所は淘汰されてしまうのではと懸念されます。

介護の主体者である利用者ニーズにあわせた、きめ細かなサービスを提供している小規模事業所こそが必要です。

介護を崩壊させないためにも、国に声を上げていきましょう。



連載 コラム

男女共同参画社会促進に向けて (7) ポストコロナにおける男女共同参画

ACT理事 かど よく
島根県立大学地域政策学部准教授 角 能

2020年度は新型コロナウイルスに翻弄された一年でした。今回のコロナ禍は非正規雇用の女性など、以前から経済的に不利な状況にあった方により大きな影響をもたらしています。例えば総務省の労働力調査では、前年同時期比の雇用者数は非正規雇用の女性が大きく減少し、貧困女性における家庭外の居場所の喪失を示唆しています。

また男性の家事参加という点でも年収の低い世帯ほど不利を抱えている状況です。内閣府の調査でも、テレワークの男性ほど家事・育児時間が増えています。しかし本人年収が低いとテレワークの実施率が低く、貧困世帯では男性の家事参加が大きく制約され、女性に家事負担や家庭内孤立が偏在しています。

今こそ企業や家族とは異なる居場所を提供してきた市民型福祉の実践例を、社会に発信していくときです。自助努力に依存したワークライフバランスは限界であり、対面の居場所も制約されてしまった現状を踏まえて、ポストコロナの時代を見据えた感染症の予防と福祉生活医療のネットワークを通じた感染症の処置、その後のコミュニティの再構築という点で、市民型福祉の好事例の蓄積と発信がいつになく求められています。



片付け事業をご利用された方の声

ACTでは片付け事業を行う、荒川区の「あうん」と府中市の「よって屋」をご紹介します。
利用された方から嬉しい声が届いています。

◎一般社団法人共働事業所 よって屋 (多摩地区)

家具や食器・本など不用品の処分と部屋の片付けを依頼しました。わかりやすい料金設定で、見積もりから当日までわかりやすい説明がありました。とにかく手際がよく親切で丁寧な仕事ぶりでした。



◎企業組合 あうん (23区内)

不要な木は土を掘り起こして根元から伐採し、ボウボウだった雑草も一本残らず無くなっていました。我が家の子ども達の最近のブームは、外から帰ってきたら玄関からではなく綺麗になった通路を通して裏から家の中に入る事です♪



ご利用希望の方は同封のチラシをご覧ください。



ACTインフォメーション

第23回総会のお知らせ

5月29日(土) 14:00 ~ 16:00

武蔵野スイングホール(武蔵境駅より徒歩2分)
レインボーサロン

*会場参加とオンライン、どちらでもご都合の良い方法でご参加ください。

皆様のご協力とご寄付に御礼申し上げます

(3月末現在)

ACTコミュニティ活動応援基金、緊急助成へのご寄付 …………… 167件 884,000円

ACTへのご寄付 …… 1件 1,000円

ACT通信ではユニバーサルデザイン(UD)フォントを主に使用しています。

「ユニバーサルデザイン(UD)フォント」は、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう、ユニバーサルデザインの視点から見やすさや読みやすさを配慮・確認し制作されたフォントです。

編集後記

去年の夏にガチャポンで買ったサボテンの種がいくつか芽を出して、ひとつだけ枯れずにゆっくり成長しています。どうせすぐ枯れるだろうと思っていましたが、意外と長い付き合いになりそうです。まだ爪の先くらい小さくて何の種類かも分からないのですが、何十年後かに突然花が咲いたりしないかなあとのんびり育てています。(しょ)

特定非営利活動法人アビリティクラブたすけあい
〒164-0012

東京都中野区本町1-13-18 大新NSビル2F

☎03-5302-0393 FAX 03-5302-0394

E-mail : tokyoact@maple.ocn.ne.jp

<https://npoact.org/>



「Facebookで「いいね!」してね」

